

登録コード	T1000110	開講年度	2026			
授業科目	物質化学ゼミナール				担当教員	戸田 泰徳 他
英文授業名	Seminar on Materials Chemistry				副担当	山本 勝宏・林 文隆・酒井 俊郎
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5 時限	対象学生
講義室	共通教育 4 2 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ					
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。			・授業で実施する課題に対して問題設定が適切であり、その問題の背景を説明でき、その問題にどのような課題があるかを指摘できるようになる。 ・課題に対して既存の解決法などを適切に把握でき、そのうえで自分の意見を提示できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	授業計画に従って学科の概要説明、学習の仕方、図書館や情報セキュリティ、こころの健康に関する講義をはじめ、PCの基本操作、レポート課題の取組方やe-ALPSを通じた課題の提出方法など、今後の大学生活や学習における基本事項を学ぶ。さらに、企業から招待した講師による、企業が重要と位置づけた目標に対するアプローチや、目標達成に向けた活動内容に関する講演を通して、卒業までの4年間でどのような科目を選び、どのように単位を修得していくかを決めることに役立てる。					
(5)授業計画	第1回 (4/15) 学科の概要、講義ガイダンス、履修指導面談 第2回 (4/22) 学習の仕方に関する説明 第3回 (4/30) *新入生ガイダンス「心の健康・大学生生活のリスク対策」(非同期型オンライン) 第4回 (5/13) *新入生ガイダンス「図書館ガイダンス」 第5回 (5/20) *新入生ガイダンス「情報セキュリティガイダンス、グローバルガイダンス」(非同期型オンライン) 第6回 (5/27) *学科のカリキュラム、課題に対する取り組み方について 第7回 (6/3) *キャリアデザイン1 (外部講師1) 第8回 (6/10) *キャリアデザイン2 (外部講師2) 第9回 (6/17) *キャリアデザイン3 (外部講師3) 第10回 (6/24) *キャリアデザイン4 (外部講師4) 第11回 (7/1) *キャリアデザイン5 (外部講師5) 第12回 (7/8) *キャリアデザイン6 (外部講師6) 第13回 (7/15) *キャリアデザイン7 (外部講師7) 第14回 (7/22) *キャリアデザイン8 (外部講師8) 第15回 (7/29) *キャリアデザイン9 (外部講師9)、授業アンケート 小論文提出(8/5まで、eALPSから提出) *印の時間はPCを使用しますので持参してください。 キャリアデザインの外部講師と講義内容については、第1回目の講義で紹介します。 第7回から第15回は、毎回eALPSから「出席確認シート」を提出してください。					
(6)成績評価の方法	(1) 小論文 の内容(課題に対する問題点の提唱と解決策、特に論理的結び付け) (2) 第7回から第15回のキャリアデザインでの出席確認シートの提出 (3) 各講義への参加状況と聴講に対する姿勢(講義中の質疑応答など)を総合して評価します。出欠は安否確認システムで確認します。 小論文について キャリアデザインの講義内容に関する産業について、新聞掲載記事を調査した上で、以下の課題に取り組んでください。 あなたが調査した産業における最近の動向を800字程度で要約してください。 このような動向から、新たに発生しうる問題を400字程度で記述してください。 上記 と を踏まえ、今後要求されると考えられる化学系研究者・技術者のあるべき姿について、400字程度で記述してください。					
(7)成績評価の基準	小論文では、課題に対する問題点の提唱と解決策、特に論理的結び付けに対し、 (i)問題設定が適切であり、 (ii)その問題の背景を説明でき、 (iii)その問題にどのような課題があるかを指摘でき、 (iv)それらの課題に対して既存の解決法などを適切に把握でき、 (v)そのうえで、自分の意見を提示でき、教員を感心させるレベルであれば『卓越している』。 (i)から(v)の5項目を満たしていれば『かなり上にある』。4項目までできていれば『やや上にある』。 3項目までできていれば『その水準にある』。 ただし、これら5項目は自身が設定するテーマにより、意を逸脱することなく変動することもある。					

(8)事前事後学習の内容	・学習の仕方については、今後の大学生活や将来の進路を考えるうえで役立てること。 ・パソコンおよびソフトの基本操作，使用方法については，特に不慣れであると思う場合は十分に復習すること。 ・小論文を作成するために，十分に文献調査を行うこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	
(10)質問,相談への対応	授業終了後あるいはEメールにて随時質問等を受け付けます。 担当教員代表：戸田（ytoda@shinshu-u.ac.jp）
(11)その他	
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない